

令和3年度 認定こども園いくさと「関係者評価」

園名 認定こども園いくさと

保育理念	一人ひとりを大切に、心豊かに、たくましく生きる子どもを育成する	
めざす子ども像	自然に親しむ子	・五感を通して豊かな感性を育てる。 ・自然体験を通して豊かな感情・好奇心・探究心・思考力・表現力の基礎を培う。
	友達を大切にする子	・人との関わりの中で、自主・自立心及び協調の態度を養う。 ・道徳心の芽生えを培い、お互いに認め合う仲間作りに努める。 ・言葉による伝え合いができるようにする。
	外で元気に遊ぶ子	・遊びを通して、学びに向かう力を育む。[熱中・挑戦・驚き・多様な発想・素直さ等] ・困難に立ち向かう力を育む。
保育教育方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣の定着を図り、健康な生活リズムを身につけ、乳児期にふさわしい生活を展開する。</li> <li>・五感を通しての学びを大切に、生きる力の基礎となる意欲・心情・態度を養う。</li> <li>・一人ひとりの発達や育ちを大切に、理解と受容、共感しながら、子どもにとって心豊かで安定した生活の場にする。</li> <li>・園小の連携を推進し、小学校への滑らかな接続を図る。</li> <li>・職員の資質・専門性の向上を図る。</li> </ul>	

自己評価結果(達成状況)【A:達成している B:概ね達成している C:あまり達成していない D:達成していない】

こども園関係者評価

評価の観点	評価項目(取組内容)	取り組み(達成)の状況	達成状況	改善の方策(今後について)	関係者評価委員から
園運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員の資質向上</li> <li>・計画性のある研修の実施</li> <li>○組織体制の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研修の充実を図った。</li> <li>・市教委主催の公開保育等の研修や、町保協の各学年研修に計画的に職員が参加した。外部講師も計画的に招聘できた。</li> <li>・オンライン研修(町保協主催)にも振り分けて参加した。</li> <li>・研修での学びを午睡の時間や職員会で共有した。</li> <li>○報・連・相を適宜行い、書類の個人ケース配布等で、情報を共有し、円滑な組織運営に努めた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オンライン研修も含め、自主的・意欲的に参加し、学んだことの共有の仕方をさらに工夫し、資質の向上に努めた。</li> <li>・ 外部講師の招聘は今年並みとするが、園内公開保育のあり方を工夫し、充実させていきたい。</li> <li>・ 月案・週案の有効な在り方について検討し、保育・教育の質の向上に努めていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ めざす子ども像の中にも、保育教育方針の中にもある「五感」という言葉は子どもにとって大事である。0歳児も五感を感じとれる。小学校に行き行ってそれをうまく使えるようになる。自然体験、外で活動することは大切。経験することで学びがあり、ケガもしないようになる。</li> </ul>
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育・保育課程の作成</li> <li>○指導計画の作成・反省</li> <li>○発達過程に応じた教育・保育</li> <li>○環境を通して行う教育・保育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育・保育要領に示されたねらい、内容を取り入れた編成を行った。第1回音楽会と親子交流会をセットにして行った(4・5歳)。</li> <li>○一人ひとりを大切に、発達年齢に応じた教育・保育に取り組んだ。</li> <li>○主体的に子どもたちが活動できる環境を整えるように努めた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園児一人ひとりの育ちの過程や興味関心に基づいた関わりがもてるように、「みつめる」「追う」ことにこだわり、遊びや学びの過程の写真的な「見える化」を図る。</li> <li>・ 各クラス運営の交流を活性化するために、「園児たちが主体的に関わる環境作り」に絞って交流に努める。</li> <li>・ 朝の時間や午後の時間における異年齢保育の課題と成果の共有化を探っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導計画があると発達段階もよく分かりありがたい。講師の先生を招いて色々な体験活動されていて、それが行事にもつながっている。運動会や音楽会、発表会は素晴らしい。</li> </ul>
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○親子の育ち合いの場としての役割や機能の充実</li> <li>・すくすくひろば開設、子育て相談、講座等の開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「すくすくひろば」を新型コロナ感染防止のため受け入れ組数を制限しながらも目標日数分実施できた。</li> <li>・まん延防止措置期間、緊急事態宣言期間もあったが、子育ての悩み相談等に応じながら、計画的に開催できた。</li> <li>・登録園児への通信配布と、HPへの通信掲載、よい子ネット登録等により、園内での子どもたちの様子を啓発できた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナ感染が落ち着けば、氷上地域内「すくすくひろば」同士の交流に広げていきたい。</li> <li>・ 通信をHPに掲載することや、よい子ネット登録して活用していただくことを継続する。</li> <li>・ 園庭開放等、園内行事等との調整を継続していく。</li> <li>・ 育児相談・保護者研修等の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎月1回園に来て、園の様子を聞かせてもらっています。アンケート結果を見せてもらい、夏の結果と比べても評価が上がっている。⑩は伸びやんでいるが、他はよくなっているで色々取り組んでおられると感じました。</li> </ul>
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○園舎の安全、安心確保</li> <li>・園舎や遊具の安全点検及び管理</li> <li>○職員の危機管理能力の向上</li> <li>・防災訓練の実施</li> <li>○交通安全指導の推進</li> <li>○健康観察、健康診断、歯科検診の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各月末の安全点検を実施した。</li> <li>○毎月避難訓練を実施した。(火事、地震、水害、不審者)</li> <li>・時間帯、担当者を変え、職員の共通理解を図った。(想定に合わせた避難経路を工夫した。)</li> <li>○事故報告書、ヒヤリハット報告書を活用し、事故防止へ繋げた。</li> <li>○新型コロナウイルス感染症防止対策を中心に、園児の健康管理に努めた。</li> <li>・保健だよりを発行により、感染症対策や健康な生活の仕方を知らせた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎月の避難訓練の内容を工夫し、計画的に、あらゆる場で状況判断をし、行動に移すことができるようにし、危機管理意識を育てるようになっていく。</li> <li>・ 事故報告書やヒヤリハット報告書等で、共有化を図り、事故後の対応について考察を行い、事故防止に繋げていく。</li> <li>・ RSウイルスによる欠席園児が増加した時期があったが、保健だよりやよい子ネットを活用し、保護者への感染拡大防止・感染予防意識の向上に繋げていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年度は職員が少ないと聞いているが、昨年度より事故が減っているのは、指導の効果が出ているのかなと思います。いつも園庭で元気に、体を使って繰り返し遊び経験から、平行感覚や斜め感覚、体のバランスを取るなどたくさんの方が身につけています。また、ヒヤリハットの事例を職員間で共有し、大きな事故につながらないようにしておられる。職員同士で連携されていることが分かった。</li> </ul>
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人ひとりの特性や発達課題に応じた支援計画の作成と実施</li> <li>○専門機関、教育機関との連携</li> <li>○途切れない支援の推進</li> <li>・家庭との連携</li> <li>・小学校との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別支援コーディネーターを中心に、個々の園児にあった支援の方法を探った。</li> <li>○専門機関との連携を図った。</li> <li>・支援が必要な園児と一緒に専門機関に出向き支援の方法を探った。</li> <li>・面談の中で保護者の思いを聞き取り、小学校の特別支援コーディネーターや関係機関に繋ぐことで、安心して進級や就学ができるようにした。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別支援の必要な園児には、個別計画を作成し、そのことを共有する場も設定し、必要な支援に努めていく。愛着障害についての理解も深める。</li> <li>・ 巡回相談や支援センター職員等と密に連携をとり、日ごろの教育・保育に取り組むよう心掛けていく。</li> <li>・ 小学校の特別支援CO、や園小接続推進担当、関係機関(アフタースクール職員)との打ち合わせを通して、保護者の思いを大切にしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども一人ひとりにきめ細やかに接してもらい、ありがたい。</li> <li>・ 愛着障害に関しては、成果として現れていることは素晴らしい。先生の曖昧な対応や子どもへの説明がないのは、今後考えてほしいが、親自身も愛着障害に関して対応の仕方等の勉強ができる機会があれば、社会的理解につながるのではないかなと思う。</li> </ul>
家庭・地域他校種との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○信頼される園作り</li> <li>・情報の発信・受信</li> <li>・園行事への積極的な参加の推進</li> <li>○小学校との連携</li> <li>・互いの学びの場となる計画的な交流</li> <li>○地域とのつながり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個人情報に留意しながら、情報発信に努めた。</li> <li>・一人ひとりの園児に対し、みとったことを連絡帳で知らせた。</li> <li>・園だより・クラスだより・給食献立予定表・保健だより等で、取組の意図や様子を発信した。</li> <li>・HPやよい子ネットを活用して、園の取組や子どもの様子を具体的に知らせた。</li> <li>○参観日・給食試食会(4歳児)を開催した。</li> <li>・具体的な子どもの姿を通して、園の教育・保育、給食への理解をしてもらう機会とした。</li> <li>○園小連携</li> <li>・計画的に相互の学びを積み重ねていくように交流を行った。</li> <li>・長期休暇中を活用し、職員の相互参観を実施した。栄養教諭と給食調理員の交流もできた。</li> <li>・アフタースクール職員、東小全職員との合同会議で1年生の引き継ぎを実施した。</li> <li>○地域交流</li> <li>・地域・保護者の方を「栽培の先生」「ダンスの先生」「絵の先生」「料理の先生」としてお迎えし、保育教育や体験活動の充実を図った。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの姿から学ぶだけでなく、保護者の声からも学ぶ体制を整え(中間評価について、保護者会役員と意見交流を行う。)、家庭と園との相互理解を図る。</li> <li>・ 保護者参観日のあり方も工夫しながら、子どもたちの生の姿が見られるようにする。</li> <li>・ 一つひとつの行事(前:前回の反省を踏まえる、後:感想や意見の収集方法をマニュアル化する)を終えた後、反省点をまとめ、振り返ることで、次に向けての改善等を検討していく。</li> <li>・ 計画的な「園小連絡会」を持ち、職員の相互参観、オンライン交流等、今年度並みの事業を継続し、子どもの変容を中心にあり方を検証していく。</li> <li>・ 地域・保護者の方を「先生」として招聘し、体験活動の質を向上させ、つながりを充実させていく。</li> <li>・ 「柏原の郷」との交流も継続し、今後も交流していきたい。</li> <li>・ 月例で自治振興会長・理事・評議員の訪問を受け、本園の取組や子どもの様子を地域の方々に知っていただく機会としていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園小連携は今後も連携していきたい。よい子ネットに登録したので、子どもたちの様子がよく分かる。継続してよい子ネットの配信をお願いしたい。</li> <li>・ 一年生が上がった時に、環境が変わることもあり、朝のカバン等の片づけに時間がかかる。4月いっぱい、地域の有志で2~3人一年生の部屋に入らせてもらい、8時から8時30分の間片付けのサポートをした。子どもも慣れてくると片付けも身につく。成長が見られた。令和4年度は保護者の方にも協力してほしい。</li> <li>・ いくさと地域の事業として、令和4年度中には水分解公園がリニューアルする。東小の里山整備は3年間東小の予算をもらっている。自治振興会とは別の組織である。一つずつ進めていこうとやっています。</li> </ul>

こども園関係者評価のまとめ

こども園関係者評価を受けての次年度の改善の方向性について

- ・ 「子どもの姿に学び、保護者の声に学ぶ」姿勢を堅持し、さらに情報発信を充実させていく。
- ・ なお一層の働き方改革を推進し、保育・教育の質の向上を図るために、「一歩前へ」日々努める。
- ・ 家庭(保護者)・地域(小学校等含む)・こども園との連携を継続し、一層推進していく。

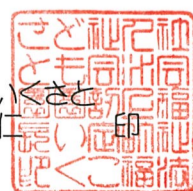
令和4年3月31日

園名

園長名

認定こども園いくさと

安田 和仁



・ コロナ禍で毎日心配やご苦労されていることと思います。小学校へ就学する際に、支援員やフォローできる人がつけられるように市に言ってほしい。

・ いくさとのアートフェスタでは、園に協力してもらい、保護者の方にもたくさん見に来ていただきました。地域の行事にも参加していただき、これからもこの活動が広がっていけば嬉しく思います。